

報告番号 ※乙第 1313 号

# 主論文の要旨

題名 東北裏日本の新第三系に関する花粉層序学的研究

氏名 山野井 徹

# 主 論 文 の 要 旨

報告番号	※甲第	号	氏名	山野井 徹
<p>花粉分析は、過去の堆積物から 花粉化石をとり出し、こよっ て当時して紀主我以降で、国 第四がい。布のし、に連さの 究がい。分石かたれ、か山積 少く分石かたれ、か山積る。 化しるらら火堆る生に東</p>	<p>花粉化石をとり出し、こよっ て当時して紀主我以降で、国 第四がい。布のし、に連さの 究がい。分石かたれ、か山積 少く分石かたれ、か山積る。 化しるらら火堆る生に東</p>	<p>花粉分析は、過去の堆積物から 花粉化石をとり出し、こよっ て当時して紀主我以降で、国 第四がい。布のし、に連さの 究がい。分石かたれ、か山積 少く分石かたれ、か山積る。 化しるらら火堆る生に東</p>	<p>花粉分析は、過去の堆積物から 花粉化石をとり出し、こよっ て当時して紀主我以降で、国 第四がい。布のし、に連さの 究がい。分石かたれ、か山積 少く分石かたれ、か山積る。 化しるらら火堆る生に東</p>	<p>花粉分析は、過去の堆積物から 花粉化石をとり出し、こよっ て当時して紀主我以降で、国 第四がい。布のし、に連さの 究がい。分石かたれ、か山積 少く分石かたれ、か山積る。 化しるらら火堆る生に東</p>



Metasequoia subzone

(C) Cryptomeria-Fagus pollen zone

Fagus subzone

Cryptomeria subzone

(2) 上記(1)の分帯のうち(A), (B)の境界は船川層下部の層準にあることが明瞭に認められ、ここを「船川変移面」と命名した。

(3) 花粉化石群からみた植生は、(A)は暖温帯性植物を主体とし、大型植物化石の台島型植物群に属す。(B)は温帯~冷温帯の植生で、大型植物化石の徳三~明石植物群に当ると含む。第3紀亜高山区から、(C)は、まこと考えらる。の植生をの始

(4) 大型植物化石の台島型植物群と三徳型植物群の境の層準は不明であつたが、連続的

に得た花粉化石から、それは  
「船川変移面」であると考え  
る。

- (5) 我が国各地で断片的に分析  
されてくる新第三系の花  
石データ層序に、対比させ  
たとき、花粉化石時代の矛盾はない。